

EBC (Evidence-based Control) 研究会ワークショップ 2009 のご案内

日 時：2009年3月25日(水) 13:00~18:00

場 所：山形大学 小白川キャンパス 教養教育棟 2号館 222教室 (山形市小白川一丁目4-12)

TEL 023 (628) 4006 * JR山形駅前から東原経由千歳公園行きバス(約10分)で山大前下車。

参加費：会場費等として1,000円を受付時に徴収させていただきます。

参加申し込み：下記事務局に3月2日までに電子メールにてお願いします。申し込みをされた方には講演要旨をメール(PDF)で事前にお送りしますので、当日ご持参ください。なお、当日も会場にて受け付けを行います(12:00~)。

懇親会(会費4,500円程度)：JR山形駅近くで19:00より予定しております。参加をご希望の方は申し込み時にお申し出下さい。なお、会費は、懇親会場で徴収させていただきます。

プログラム

12:00 受 付

13:00 開 会

13:00~13:45 山形県におけるセイヨウナシの防除体系の構築
—輪紋病を中心とした果実腐敗性病害のエビデンス—
本田 浩央 (山形県農業総合研究センター農業生産技術試験場)

13:45~14:55 イネ いもち病の防除
1. 東北地方におけるイネいもち病防除の現状
小泉 信三 (独) 農業・食品産業技術総合研究機構
東北農業研究センター寒冷地温暖化研究チーム)

2. 秋田県におけるいもち病防除のエビデンス
藤井 直哉 (秋田県農林水産技術センター農業試験場)
14:55~15:15 統計解析手法の誤った適用事例に学ぶ—よりよいエビデンスのために—
田代 暢哉 (佐賀県上場営農センター)

— 休 憩 —

15:25~16:50 近年開発されたベト・疫病防除薬剤の各種特性と効果的な使用方法
1. ベンチアバリカルブイソプロピル
高垣 真喜一 (クミアイ化学工業株式会社 研究開発部)
2. マンジプロパミド
林 敬介 (シンジェンタ ジャパン株式会社 開発登録部)
3. アミスルブロム
本田 卓 (日産化学工業株式会社 農業化学品事業部)
4. フルオピコリド
沢田 勝鏡 (バイエルクロップサイエンス株式会社 開発グループ)

16:50~18:00 農薬製剤のエビデンス
1. 農薬製剤剤型の解説
—原体特性からの最適剤型選抜について—
鈴木 雅博 (日本曹達株式会社 農業化学品開発グループ)
2. 剤型の違いが防除効果および薬害に及ぼす影響
①水稲用散布剤：粉剤DLから微粒剤Fへの改良によるドリフト軽減効果
藤田 茂樹 (クミアイ化学工業株式会社 製剤技術研究所)
②クロロタロニル水和剤からフロアブルへの変更
元吉 政俊 (株式会社エス・ディー・エスバイオテック つくば研究所)

18:00 閉 会

問い合わせ先：研究会事務局

東京農業大学農学部植物病理研究室 根岸寛光 (e-mail:negishi@nodai.ac.jp)